

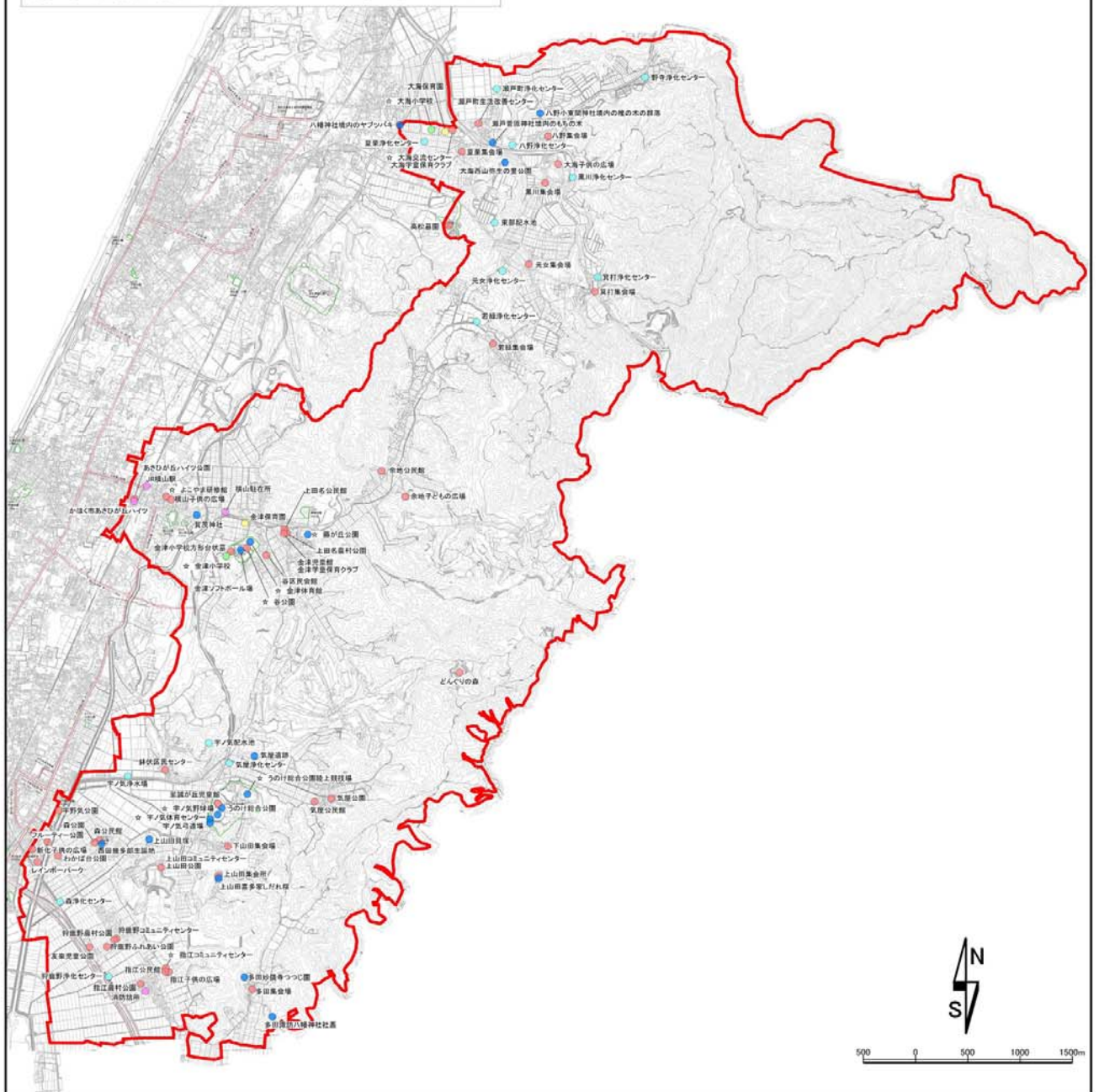
地域	かほく東部地域																														
現 況 整 理	<p>宝達山系の緑豊かな丘陵地と水田、一部に樹園地が広がり、谷あいや縁辺部に集落が点在するほか、JR横山駅、ゴルフ場、うのけ総合公園がある地域。</p>																														
	<p><b>【人口・世帯数の動向】</b></p> <p>平成22年の本地域の人口は4,393人、世帯数は1,351世帯で、市全体に占める割合は、人口、世帯数ともに約12%となっている。</p> <p>また、人口は平成17年に増加に転じたが、平成22年は再び減少となっている。世帯数は、一貫して増加傾向にある。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;"><b>人口・世帯数の推移</b></p> <p style="text-align: right; font-size: small;">資料) 国勢調査</p> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>人口(人)</th> <th>世帯数(世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成2年</td> <td>5,089</td> <td>1,161</td> </tr> <tr> <td>平成7年</td> <td>4,946</td> <td>1,209</td> </tr> <tr> <td>平成12年</td> <td>4,630</td> <td>1,218</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>4,817</td> <td>1,329</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>4,393</td> <td>1,351</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="flex: 1; margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;"><b>3区分別年齢構成 (平成28年3月末現在)</b></p> <p style="text-align: center; font-size: small;">資料) 住民基本台帳</p> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>0~14歳</th> <th>15~64歳</th> <th>65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かほく東部地域</td> <td>12.8</td> <td>56.0</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td>市平均</td> <td>13.5</td> <td>58.4</td> <td>28.1</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	年次	人口(人)	世帯数(世帯)	平成2年	5,089	1,161	平成7年	4,946	1,209	平成12年	4,630	1,218	平成17年	4,817	1,329	平成22年	4,393	1,351	区分	0~14歳	15~64歳	65歳以上	かほく東部地域	12.8	56.0	31.2	市平均	13.5	58.4	28.1
	年次	人口(人)	世帯数(世帯)																												
平成2年	5,089	1,161																													
平成7年	4,946	1,209																													
平成12年	4,630	1,218																													
平成17年	4,817	1,329																													
平成22年	4,393	1,351																													
区分	0~14歳	15~64歳	65歳以上																												
かほく東部地域	12.8	56.0	31.2																												
市平均	13.5	58.4	28.1																												
<p><b>【土地活用現況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の中央西端にJR横山駅が立地しており、周辺一帯に住宅、商店舗、工業施設(横山工業団地)等が混在する市街地を形成している。</li> <li>○地域の大部分が宝達山系の丘陵地で占められ、その谷あいや縁辺部に集落が点在している。</li> <li>○丘陵地以外は、河北縦断道路沿道に水田等の農地が広がっており、特に瀬戸町、八野の各集落周辺には、柿団地が点在する。</li> <li>○地域南部には、丘陵地を活用したゴルフ場やうのけ総合公園が立地しているほか、一部工場も立地している。</li> </ul>																															

現 況 整 理	<p><b>【都市基盤整備状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○当該地域の大半は、都市計画区域外となっている。</li> <li>○主要地方道高松津幡線（河北縦断道路）の未整備区間が平成 28 年度中に整備予定であるほか、（都）内日角横山線の一部が未整備となっている。</li> <li>○山間部の道路では、一部、幅員が狭い区間も存在している。</li> <li>○都市公園として、谷公園、うのけ総合公園、高松墓園が整備されているものの、地域内に未整備の都市公園がある。</li> <li>○また、都市公園以外では、大海西山弥生の里公園があるものの、特に地域北部では身近な公園、広場等が不足している。</li> <li>○地域南部には、気屋遺跡や上山田貝塚、西田幾多郎生誕地など、歴史的、文化的資源が分布している。</li> <li>○地域の中央西端に J R 横山駅が立地しており、通勤通学等の交通結節拠点となっている。</li> <li>○地域の児童福祉施設は、大海保育園、金津保育園、金津児童館がある。</li> <li>○地域のコミュニティ施設は、大海交流センターがある。</li> <li>○地域の避難場所として、大海小学校、大海交流センター、指江コミュニティセンター、金津小学校、金津体育館、よこやま研修館等がある。一方、若緑地区では地すべり危険箇所が広がっている。</li> </ul>
	<p><b>【主な都市施設分布状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行政機関等……………横山駐在所</li> <li>○教育施設……………大海小学校、金津小学校</li> <li>○文化・スポーツ施設……宇ノ気体育センター、宇ノ気野球場、うのけ総合公園陸上競技場、金津体育館、藤が丘公園</li> <li>○福祉施設……………大海保育園、金津保育園</li> <li>○コミュニティ施設……大海交流センター、至誠が丘児童館、指江公民館、気屋公民館、鉢伏区民センター、森公民館、指江コミュニティセンター、上山田コミュニティセンター、よこやま研修館、上田名公民館、谷区民会館、余地公民館、金津児童館、大海学童保育クラブ、金津学童保育クラブ</li> <li>○良好な景観（文化財）…大海西山遺跡、八幡神社境内のヤブツバキ、八野小東間神社境内の椎の木の群落、瀬戸菅原神社境内のもちの木、高地谷林道の桜並木、薬師の泉</li> </ul>

■ まちづくりの課題

- ◎良好な自然や生産環境と調和した住宅地・集落地の保全と、身近で利用しやすい公園・広場の確保等の居住環境の充実
- ◎生活や安全にも配慮した機能的な道路体系の構築や、J R 横山駅の立地を活かした公共交通機関の充実と快適に利用できる公共交通サービスの導入
- ◎緑豊かな丘陵や河川、田園空間等の良好な自然環境の維持・保全と、既存施設を活用した自然レクリエーション機能の充実
- ◎地域南部に点在する歴史文化資源を活用した地域の個性や魅力の向上
- ◎土砂災害対策や洪水・浸水対策、要配慮者・避難行動要支援者対策など、総合的な防災体制の確立

都市施設等分布図(かほく東部地域)

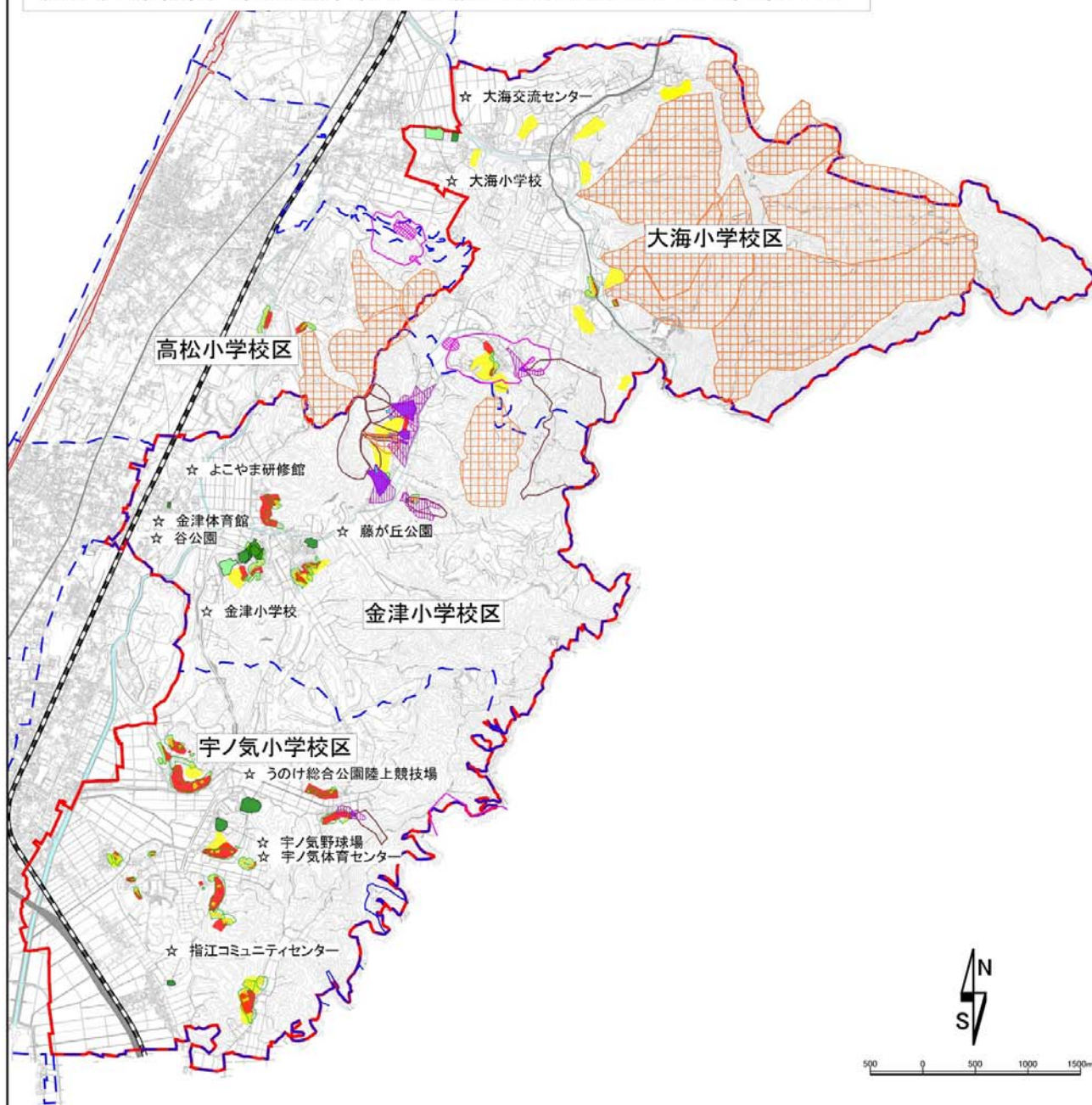


凡 例

- 行政・コミュニティ施設
- 医療・福祉施設
- 教育施設
- 供給処理施設
- スポーツ・文化・レクリエーション施設
- その他の公的施設

注) ☆印は地域防災計画に基づく拠点避難所・緊急避難場所

指定医療機関・緊急避難場所・危険区域状況図(かほく東部地域)

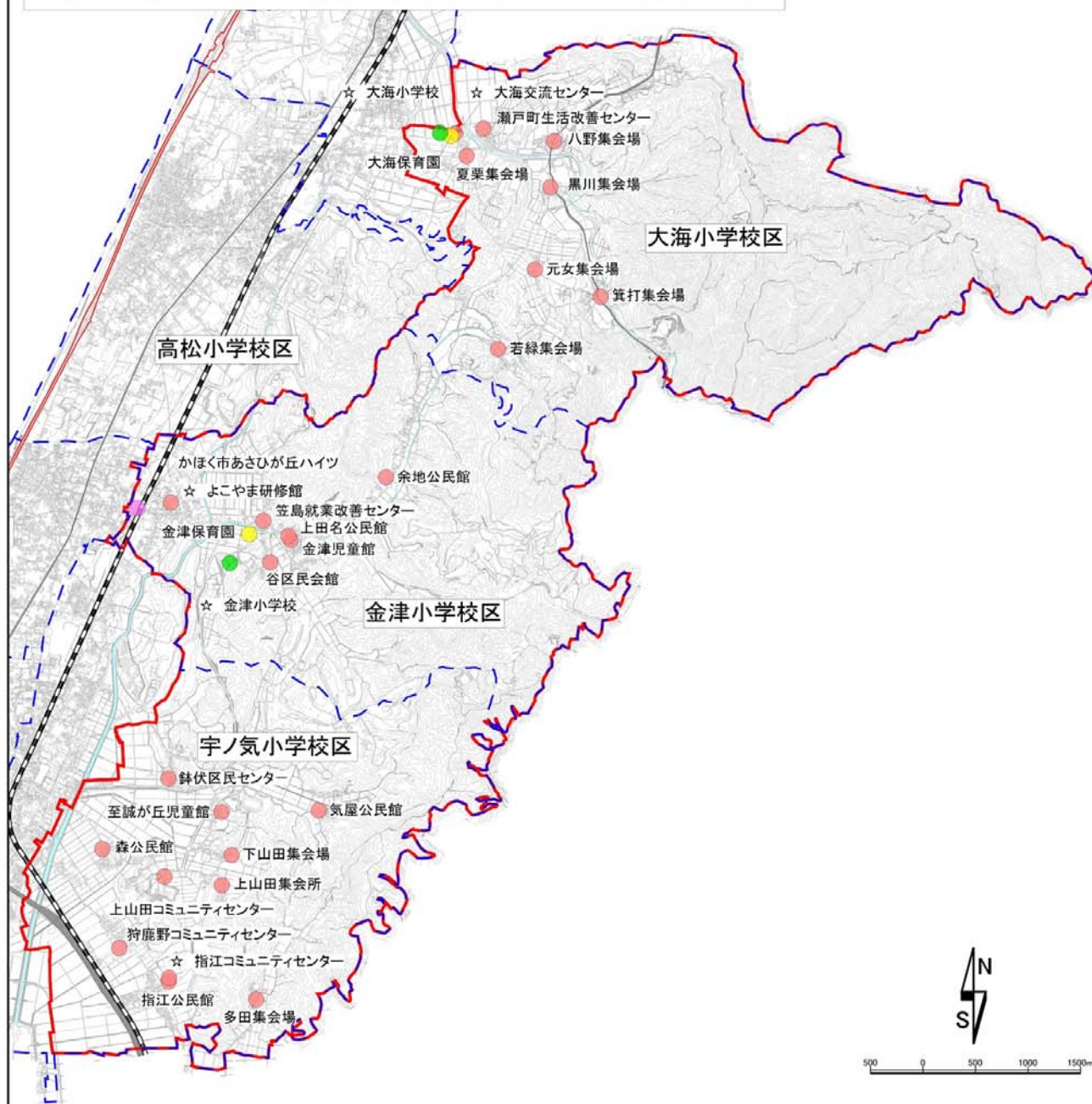


凡 例

- |                              |             |                         |            |                     |        |
|------------------------------|-------------|-------------------------|------------|---------------------|--------|
| ---                          | かほく市小学校区区域界 | [Cross-hatch]           | 地すべり警戒区域   | [Grey line]         | 国道     |
| ●                            | 指定医療機関      | [Red]                   | 急傾斜地崩壊危険箇所 | [Dashed black line] | 鉄道     |
| [Light green]                | 拠点避難所       | [Purple]                | 地すべり危険箇所   | [Red line]          | のと里山海道 |
| [Dark green]                 | 緊急避難場所      | [White with red border] | 土石流危険渓流    | [Cyan line]         | 主な河川   |
| [Yellow with diagonal lines] | 急傾斜地の崩壊特別区域 | [Purple]                | 土石流危険区域    | [Red outline]       | 地域界    |
| [White with green border]    | 急傾斜地の崩壊区域   | [Yellow]                | 山腹崩壊危険地区   |                     |        |
| [Cyan]                       | 土石流特別警戒区域   | [Blue]                  | 地すべり危険地区   |                     |        |
| [Purple with vertical lines] | 土石流警戒区域     | [Orange grid]           | 崩壊土砂流出危険地区 |                     |        |

注) ☆印は地域防災計画に基づく拠点避難所・緊急避難場所

教育施設・コミュニティ施設等分布状況図(かほく東部地域)



凡 例

- - - かほく市小学校区区域界
- 小中学校等
- 保育園・幼稚園
- 公民館・集会所等
- 公営住宅
- 国道
- 鉄道
- のと里山海道
- 主な河川
- 地域界

注) ☆印は地域防災計画に基づく拠点避難所・緊急避難場所

■ 将来目標

『 緑豊かな自然や歴史に抱かれ、うるおいとやすらぎの中で、  
いつまでも安心・安全に暮らし続けられる地域づくり 』

- ・ 自然と共生し、歴史・文化を大切にしたい、住民が愛着とやすらぎを感じる里づくり
- ・ 豊かな田園環境と人々の暮らしが融合したうるおいのある里づくり

■ 地域別のまちづくりの方針

①  
土地利用の  
方針

- 低・中密度住宅地区における居住環境の向上
  - ・ 地域中央西部の低・中密度住宅地区は、住宅地としての居住環境の保全や改善を基本としながら、住宅と生活関連店舗が調和した良好な住環境の形成を図る。
- 集落環境の維持・保全
  - ・ 既存集落地は、生活基盤の充実や農業生産基盤の保全を図り、良好な集落環境の維持・保全を図る。
- 農地の保全と農業的土地利用の継続
  - ・ 地域北西部の紋平柿の生産地は、柿団地の農業的土地利用を継続するとともに、地場産業の活性化を促す土地利用の展開を図る。
  - ・ 地域中央部～南部に集落を取り囲むように広がる農地は、農業生産の向上及び農業振興、田園風景の維持等の観点から、維持・保全に努める。
  - ・ 関連機関などとの連携による市民農園の充実や農業体験の場など、農地の利活用を図る。
- JR横山駅周辺の活性化
  - ・ JR横山駅周辺は、駅周辺の再整備等により、交通結節点としての機能強化を図るとともに、日常生活に密着した利便性の高い駅前商業地の形成を図る。
- 快適な工業地空間の創出
  - ・ 横山工業団地は、本市の工業生産拠点としての操業環境を維持するとともに、周辺環境と調和した快適な工業地への誘導を図る。また、工業団地周辺地区は、既存工業施設の移転受け皿や新たな工業施設の立地地域として工業地の拡大に対応しうよう、土地利用の誘導を図る。
- 沿道土地利用の計画的誘導
  - ・ 地域中央部～南部の河北縦断道路沿道や国道159号沿道は、周辺の田園環境や自然環境に配慮しながら、ロードサービス施設を中心とした立地を誘導する。
  - ・ また、河北縦断道路沿道や背後地への住宅系用途による市街地の拡大抑制や大規模な商業施設の立地を抑制するため、特定用途制限地域に基づき、適切な土地利用誘導を行う。
- 丘陵地の豊かな自然環境の保全と活用
  - ・ 集落地背後の丘陵地は、良好な都市環境の創出並びに防災上の観点からその保全に努めるとともに、自然とのふれあいや健康増進に寄与するレクリエーション空間としての活用を図る。



紋平柿

■ 地域別のまちづくりの方針	
② 都市施設整備の方針	<p><b>道路交通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広域間の連携・交流を強化する幹線道路の整備促進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北方向の主要幹線道路である河北縦断道路の整備に合わせ、「かほく市幹線道路網整備計画」に基づき、必要な道路の整備促進を図る。</li> </ul> </li> <li>○集落内生活道路の機能向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落内の生活道路は、農村景観や自然環境に配慮しつつ、狭い路地等の整備・改善や街灯の設置、融雪装置の設置等の整備を段階的に推進する。</li> </ul> </li> <li>○交通結節点としてのJR横山駅の利便性向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR横山駅は、交通結節点として、鉄道と福祉巡回バス等の交通機関の円滑な乗り継ぎが可能となっており、今後も関係機関との協議・調整のもと、公共交通の利便性向上とコミュニティーセンターの適切な維持管理を図る。</li> <li>・二次交通となる福祉巡回バスの結節点として、公共交通ネットワークの再構築を検討する。</li> </ul> </li> <li>○公共交通機関の利便性向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地部と連絡し、地域内を巡回する福祉巡回バスなどの利便性向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○山間地道路の安全確保                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・山間部の道路は、災害等による道路寸断のおそれもあるため、道路の防災対策や適切な維持管理、除雪体制の実施等を図る。</li> </ul> </li> <li>○人や自然にやさしい安全で快適な道路整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道等のバリアフリー化や再整備を推進し、誰もが快適に移動できる歩行空間のネットワーク化を図るとともに、街路樹の適切な維持管理により、環境等に配慮した道路整備を推進する。</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>公園緑地</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な公園・広場の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑の基本計画」の策定を進め、これに基づき長期未着手の都市計画公園の計画的な見直しを図るとともに、都市公園・公園遊具長寿命化計画に基づき、既存の公園・広場は、必要に応じて遊具、施設等の充実を図るほか、市民に親しまれる公園・広場とするため、公園愛護活動などの住民参加による維持管理を推進する。</li> <li>・地域中央部では、新たな住宅地の整備等に併せ、公園・広場の適正配置と整備を図る。</li> </ul> </li> <li>○うのけ総合公園の利用促進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・うのけ総合公園は、市民の健康維持・増進と総合交流拠点としての機能強化や適切な維持管理を図り、本市の広域的・拠点的なレクリエーションの場として利用促進を図る。</li> </ul> </li> <li>○訪れる人すべてにやさしい公園づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安全で利用しやすい公園となるよう、アクセス道路や公園施設のバリアフリー化の推進、ユニバーサルデザインに基づいた施設整備を検討する。</li> </ul> </li> <li>○工業地の緑化や緩衝緑地の配置                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・横山工業団地は、敷地内の緑化を促すとともに、住宅地との境界部に緩衝緑地を確保するなど、周辺環境との調和に努める。</li> </ul> </li> </ul>

■ 地域別のまちづくりの方針

③  
自然環境の保全  
及び  
都市環境形成  
の方針

○丘陵地の保全と活用

・集落背後の丘陵地は、良好な景観形成に配慮しつつ、樹林地の保全に努めるとともに、自然観察緑地やレクリエーション空間としての活用を図る。

○多様な緑の保全・活用

・地域北部では、大海西山弥生の里公園や農地、河川沿いの緑、丘陵樹林地や社寺境内林など、地域が有する多様な緑資源を保全するとともに、自然にふれあえるレクリエーション空間としての活用を図る。

○水と緑のネットワークの形成

・二級河川大海川、宇ノ気川、大谷川沿いは、緑地や親水空間の整備等による水と緑豊かな憩いの空間としての機能を持たせ、水と緑のネットワークの形成を図る。

○地域固有の緑等の保全・育成と活用

・高松東部の高地谷林道の桜並木や薬師の泉、宇ノ気東部の上山田喜多家しだれ桜や、多田妙鏡寺つつじ園の歴史的な緑や社寺境内林、古木等、宇ノ気北部の賀茂神社の社寺境内林、宮谷家の桜等は、所有者や地域住民の協力を得ながら貴重な自然、歴史・文化資源として保全するとともに、これらを活用した散策路の整備などにより、ネットワークの形成を図る。



薬師の泉

○悪臭防止対策の推進

・地域中央部では、家畜ふん尿の適正処理などによる悪臭防止対策を推進する。

○環境への負荷の少ないまちづくり

・行政と市民が一体となってゴミの減量化や資源のリサイクル、自然エネルギーの活用等を推進することにより、地球温暖化の防止や環境への負荷の少ない循環型社会の形成を推進する。

○自主的な環境美化活動の推進

・快適で美しい生活環境を確保するため、道路や河川の清掃活動や公園の維持管理など、地域に根ざした市民・団体の自主的な環境美化活動の継続支援、人材の育成を推進する。



## ■ 地域別のまちづくりの方針

### ④ 都市景観形成 の方針

- うるおい豊かな田園集落景観の維持・保全
  - ・地域中央部では、のどかな田園集落の環境を大切にしつつ、田園と集落地、寺社の社叢林、丘陵地等が織り成す、うるおい豊かな景観の維持・保全を図る。
- 豊かな自然に囲まれた住宅地のまちなみ形成
  - ・JR横山駅周辺の住宅地は、地域住民が中心となって住宅地のまちなみづくりのルールを定めるなど、豊かな自然に囲まれた良好な住宅地のまちなみ形成を推進する。
- 地域の歴史的資源、緑資源を活かした空間づくり
  - ・地域南部では、上山田貝塚や気屋遺跡等の貴重な歴史的資源を保全するとともに、郷土の歴史に触れ、親しめる空間づくりを推進する。
  - ・また、上山田喜多家しだれ桜や、多田妙鏡寺つつじ園などの緑資源を活かし、季節感のある、香豊かな空間づくりを推進する。
- 落ち着いたある里山集落景観の保全・形成
  - ・地域北部～中央部では、紋平柿園、星空やホテル、桜並木等の里山の景観資源を保全するとともに、里山と集落地、農地、丘陵樹林地が織り成す、季節を感じ落ち着いたある景観の保全・形成を図る。
- JR横山駅周辺の賑わいと魅力ある景観形成
  - ・JR横山駅周辺は、地域の玄関口としてふさわしい駅前空間のシンボル化など、賑わいと魅力ある景観形成を図る。
- 河北縦断道路沿道の景観形成
  - ・地域中央部～南部では、屋外広告物や沿道土地利用における規制誘導を導入するなど、周囲の自然環境との調和に配慮した、落ち着いたある里山集落景観の誘導を図る。
- 工業地の良好な空間形成
  - ・横山工業団地は、周辺の環境と調和した建物の色彩や形態に配慮し、敷地内の緑化と併せて、周辺の環境となじむ工業地空間の形成を図る。
- 河川・田園景観の保全・育成
  - ・二級河川大海川、宇ノ気川、大谷川における水辺景観の創出や緑豊かな田園景観の形成により、川のせせらぎ、木々のゆらめき、鳥のさえずりなどが感じられる、うるおいと安らぎのある景観づくりを推進する。
- 山並み景観の保全・育成
  - ・集落背後の山地や丘陵地は、眺望景観の対象として、緑の連続性と一体感を守り育て、良好な丘陵地の保全・育成を図る。



リバーフェスタ



高地谷林道の桜並木

■ 地域別のまちづくりの方針

⑤  
安全・安心な  
都市づくりの  
方針

○集落の防災機能の向上

- ・集落内の生活道路は、側溝の有蓋化や電柱の移設等、有効幅員の確保に努めるほか、消防水利の確保、ブロック塀等の生垣緑化への転換の推進など、居住環境整備と併せた防災機能の向上を図る。

○防災施設の整備充実

- ・災害時に市民が安全に避難できるよう、避難地へのアクセス道路の改修など、防災活動拠点としての機能充実を図る。また、「かほく市あんぜん・あんしん防災マップ」等の活用を促し、避難所の位置や機能など住民への周知徹底を図る。
- ・災害時に備えた物資・資機材の備蓄に努める。

○防犯対策の推進

- ・防犯灯の設置及びLED化の推進、防犯カメラの設置、防犯に配慮した公園・道路等の維持管理等、犯罪抑止策の実施に努める。

○洪水・浸水対策の強化

- ・地域を流れる河川は、流域の洪水・浸水被害の軽減を図るため、必要に応じて河川改修を促進する。

○土砂災害防止対策の強化

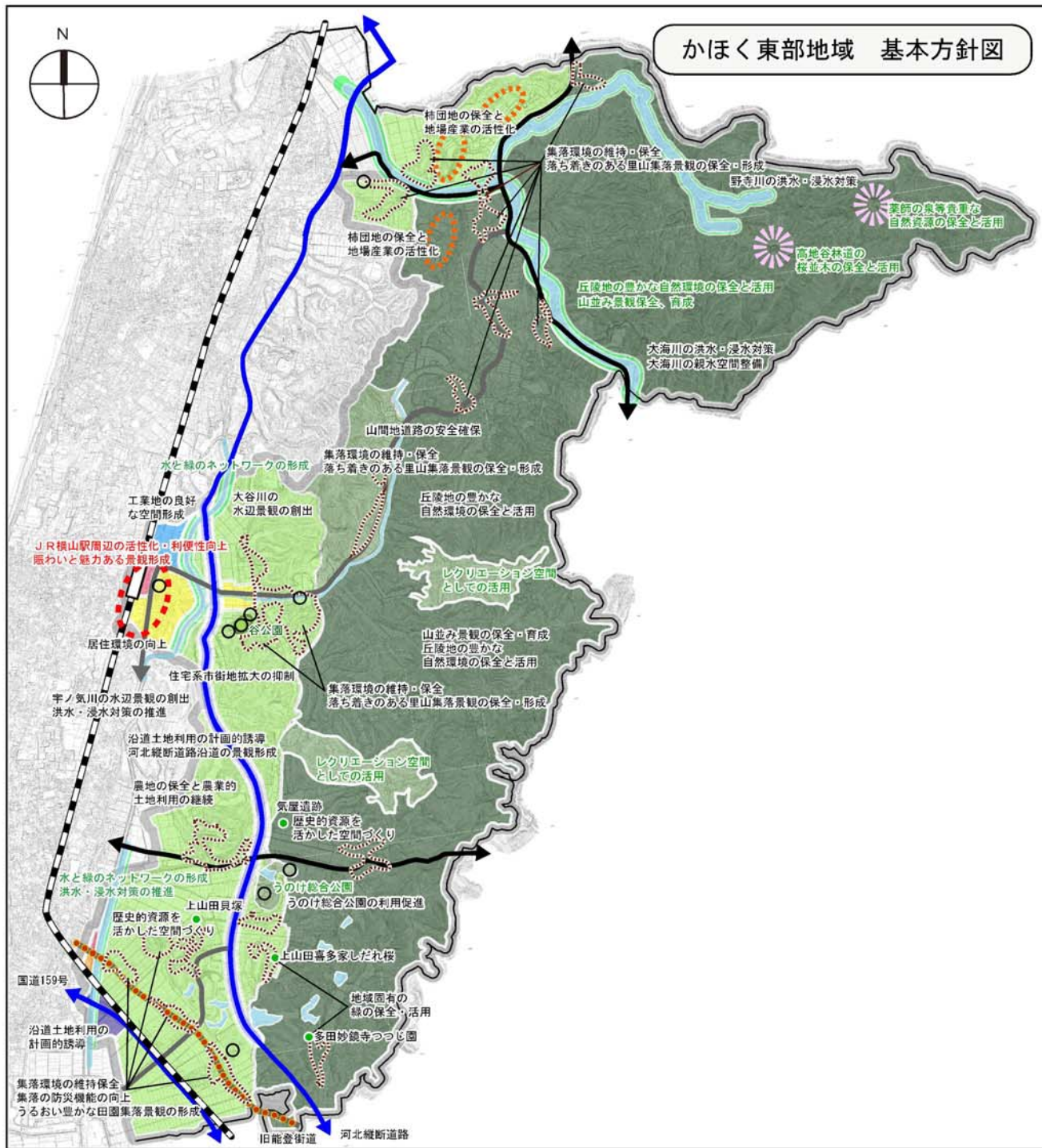
- ・県と連携し、地すべり危険箇所等における継続的な治山対策を推進するとともに、地域住民との連絡を密にし、定期的なパトロールや注意喚起、異常気象時の点検や調査見回りを実施するなど、災害の未然防止に努める。

○市民主体の防災・防犯活動の推進

- ・防災に向けた地域住民同士の連携強化や組織化を推進するとともに、自主防災組織や防災士の育成、防災訓練や防犯パトロールなど、市民自らが地域の安全を守る活動を支援する。

○防災・防犯意識の向上

- ・「かほく市あんぜん・あんしん防災マップ」等の活用促進や、広報、ホームページによる情報提供、講習会の実施等による情報提供と併せ、防犯・防災知識の普及と意識啓発を推進する。



凡例

- |           |         |            |              |
|-----------|---------|------------|--------------|
| 低・中密度住宅地区 | 沿道利用地区  | 沿道利用適正誘導地区 | 拠点避難所・緊急避難場所 |
| 職住共存地区    | 環境保全地区  | 主要幹線道路     | 公園・緑地等       |
| 田園居住地区    | 親自然健康地区 | 幹線道路       | 主な集落地        |
| 近隣商業地区    | 自然活用地区  | 主要な道路      | 保安林          |
| 地域中心商業地区  | 工業地区    | 鉄 道        | その他施設        |